

## KAGAWA アンバサダーからのお便り ～平田ゆたかさん～

緑の木々のこもれ日の中を昔の馬車がゆっくりと通りすぎるように乗用車が近づいてくる。乗用車の前を乳母車に赤ん坊を乗せた夫婦が横切る。しばらくして老夫婦が人生を楽しんだように通り過ぎる。これはイタリアの車のテレビCMの一コマ。スピード狂で名高いイタリア人とは別のエレガントな一面を見せてくれた。私の心に残り、人生を考えさせられた。日本の車のCMに笑いとしさが多い事と比較してしまう。

毎年、クリスマスの前には行きつけの Pasta 屋や車の会社などが地味ではあるが、カレンダーをくれる。そこには、365人の聖人の名前とともに、必ず日の出、日の入りと満月、新月が分かりやすく描かれている。太陽と月の自然の恵みの中で生活が息付いているのが感じさせられる。大安、吉日が目安の日本の習慣と比べてしまう。日の出を描く事を目指している私にとっては日本に来て不自由さを感じる一つでもある。

マンジャーレ（楽しい食事）、カンターレ（人生は歌うこと）、アモーレ（人を愛すること）が人生感として多くのイタリア人に根付いている。特に日本人に対しては歴史、地形、風土等、そして香川県とイタリアのオリーブ、さぬきうどんとパスタの麺類など、共通点が多いからか、どこに行ってもすぐに打ち解け、親密になる。

日本でイタリアを取り上げるテレビ番組が多くなった。《いまもイタリアで息づいている人間本来の心豊かなくらし—美しく生きるとは？—飾らない日常の中の物語。目には見えない「本当に大切な物」をその笑顔がそっと教えてくれます》（ある番組から抜粋）

ローマで人生の半分以上（44年）住んでいると日本への愛国心と郷土愛が年々深まってくるとともにイタリアと日本の違いも感じる。「美しく生きることとは」を常に問いかけている自分がいる。話題は尽きない。



ローマのクリスマス風景



**平田ゆたか（ひらたゆたか）さん**

洋画家。1975年イタリア国立ローマ・アカデミー入学。  
81年ローマ市オスカー絵画賞。86年ローマ法王作品献上。  
バチカン近代美術館作品所蔵。2000年キリスト生誕  
2000年記念でバチカン文化庁に作品所蔵。

◇ **KAGAWA アンバサダーについて**

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ **KAGAWA アンバサダーからのお便りについて**

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。